

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394800011
事業所名	グループホームひびきの家豊明

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	地域の祭りでは、獅子舞がホームの玄関まで来て利用者を楽しませている。ボランティアの来訪が多く、「華の会」ボランティアは10名ほどで来訪し、カラオケやフラダンス、詩吟、三味線等々、多彩な芸を披露してくれる。毎月の「菜の花II」ボランティアは、ピアノと歌、ゲームで利用者を楽しませている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	利用者や家族、市の健康長寿課職員、町内会長、民生委員・児童委員等をメンバーとし、運営推進会議が年間6回開催されている。ホームからの状況説明・報告に続き、参加メンバーによる意見交換が行われている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	運営推進会議には、毎回市の健康長寿課の職員が参加している。年間6回の会議に、同じ職員が参加することは稀で、より多くの職員に高齢者介護の現状を理解させようとの市の方針もあるようである。介護相談員の訪問が定期的であり、利用者との面談の情報は市に届けられている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	来訪時や運営推進会議への出席の際に、家族の意見や要望を聞き取り、可能な限りホームの運営に反映させている。家族への急ぎの連絡は、携帯メールを活用して迅速に行っている。家族とホーム(職員)とが、遠慮なく意見を言える関係ができています。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎